

## 第8回 高砂市スポーツ推進計画検討会議

平成27年1月29日(木) 19時高砂市スポーツ推進計画検討会議を高砂市役所南庁舎2階会議室2において開会

出席委員	議長	森田 啓之	委員	加茂 朋之
	副議長	藤原 良文	委員	松陰 英人
	委員	砂川健次郎	委員	佐藤 章徳
	委員	鎌谷 正士	委員	山田 みえ
	委員	水王 征子	委員	中村 香織
	委員	池田 政隆	委員	島本 卓

欠席委員 な し

### 出席事務局職員

高砂市長	登 幸人
健康文化部長	橋本 保正
健康文化部くらしと文化室文化スポーツ課長	東野 哲也
健康文化部くらしと文化室文化スポーツ課主幹	福原 裕子
健康文化部くらしと文化室文化スポーツ課係長	前川 吉也

### 協議事項

- 1 開 会
- 2 あ い さ つ
- 3 議 題
  - (1) 高砂市スポーツ推進計画について
  - (2) 高砂市スポーツ推進計画実施計画(アクションプラン)(案)について
- 4 そ の 他
  - (1) スポーツ推進会議設置要綱
- 5 閉 会

(午後 7時00分 開会)

○事務局

皆様こんばんは。

会議を始めます前に、資料の確認だけ先にさせていただきたいと思います。

(資料確認)

○事務局

それでは、定刻を過ぎましたので、ただいまより第8回高砂市スポーツ推進計画検討会議を開催いたします。

開催に先立ちまして、当会議の公開についてですが、高砂市スポーツ推進計画検討会議の運営に関する規定に基づき、公開とさせていただいております。

ただし、傍聴希望者は本日はおりませんので、よろしくお願いいたします。

委員の皆様におかれましては、お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。

では、次第により進行いたしますので、よろしくお願いいたします。

まず、開催にあたりまして、議長よりご挨拶をお願いいたします。

○議長

(あいさつ)

○事務局

ありがとうございました。

本日の会議は12人全員出席となっております。

では、今後の議事進行は、議長をお願いいたします。

○議長

それでは、次第に基づいて進めていきたいと思います。

一つ目、高砂市スポーツ推進計画につきまして、事務局のほうから説明をお願いいたします。

○事務局

資料1をお願いいたします。

前回の検討会議でご意見をいただきました箇所や細かい字句の修正を加え、また、写真なども変えて、完成系の形にした案をお示しさせていただいております。

修正したページをご説明いたします。

目次をお願いします。

かっこの位置がずれていた箇所を修正いたしました。

1 ページをお願いします。

2 本計画における「スポーツ」の最後の部分、「扱います」と記載していた箇所を「捉えます」に修正し、図のニュースポーツとユニバーサルスポーツに米印をつけ、下に注釈をつけました。

3 ページ、4 ページは、(1)、(2)、(3)、(4)が小さい()の標記だったものを大きい(1)、(2)、(3)、(4)に修正し、また、冒頭の(1)の下線部分を追加いたしました。

4 ページ、写真の中の表示を前回「柔道交流(ラトローブ市)」だったものを「ラトローブ市との柔道交流」に修正しました。

5 ページの1も同様です。下のニュースポーツの注釈、米印のところですが、1 ページ参照に修正しました。

次、6 ページ、ニュースポーツの説明部分ですが、前回、スーパードライブの枠の中にニュースポーツの記載を表記していた部分を表の外に、「高砂市で取り組んでいるニュースポーツの例と表記するように修正しました。

8 ページの下、米印の5の注釈に「壮年期」が漏れていましたので修正をしました。

続きまして10 ページの下、米印の3、ユニバーサルスポーツの注釈を1 ページ参照に修正をしました。

続きまして12 ページ、上から三つ目の(3)「成年期・壮年期の取組」に、壮年期が漏れていましたので、修正をいたしました。

15 ページ、コラムに数字をつけ【コラム1】とし、スキヤモンの発育発達曲線の下線部分を修正いたしました。また、このページの下に親子体操の写真を追加いたしました。

続きまして次の16 ページをお願いします。

青少年期の取組 ア スポーツに触れる機会づくりの下に、【コラム2】と武道団体協議会の写真を下線の部分を修正して掲載いたしました。

17 ページに、スポーツチャンバラと凧あげの写真とバーンアウトの【コラム3】を掲載しました。

続きまして18 ページですが、1月7日に高砂市議会文教厚生常任委員会において報告したところ、5 ページの下に運動部活動についての記載があるのに、取組の記載がないと指摘があり、そこで、学校教育課と調整し、新たに③運動部活動等の充実として、

「中学校における運動部活動指針」に沿って、個性を伸ばし、友情を深めるなどの好ましい人間関係を育てる環境づくりに努めるとともに、運動の楽しさや喜びを味わうことができる活動の充実に努めますを追加いたしました。

19 ページの冒頭に、若いときから運動するメリットを、下線部分を追加しました。

20 ページは、写真を特定保健指導とウォーキングの2枚に絞りました。

22 ページは、高齢期の写真をいきいき百歳体操の写真に変更しました。

続きまして26 ページは、将来像の枠の中の「生きがい」を漢字に修正しました。

28 ページ、上から6行目の最後を「行います」と表記していたものを、「図ります」に修正しました。

29 ページ、上から4行目の「誰もが」を漢字に修正し、写真をトレーニング教室と

野球教室にしました。

33ページ、35ページは、「スポーツ団体」となっていたところを「スポーツ関係団体」というふうに修正し、35ページの高砂マラソン大会ジョギングの部の写真を変更しました。

37ページは、スポーツ推進会議に「」をつけました。

図の「市（行政）」の中に、「スポーツ推進会議」を追加し、「市民」の丸と「参加、参画」の矢印をつなげました。

44ページは、12月に教育委員会への報告、そして1月、市議会への報告、それと本日の検討会議を記載しております。各委員の皆様、ご意見ありがとうございました。

以上で、簡単ではございますが説明を終わります。

#### ○議長

たくさん、若干の修正も含めてあるんですが、何回か見ていただいたところもあると思いますので、特に気になるところ、ありましたらと思うんですが。

ちょっとそうしましたら、私のほうから、まず大きくプラスアルファされているところあたりをちょっと見ていただいて、15ページ、ちょっとごらんください。

スカモンのところですね。発達発育曲線の部分、表記をもう少し改めたほうがいいんじゃないかというふうなご意見が、もう3箇月前なので、ちょっとご記憶かどうかあれなんですけど、それで、ちょっとトレーニングみたいな、競技力みたいな意味合いに限ったので、ということで、少し文言を追加をしてもらいました。ちょっと読んでいただいて、コラムなんですけど、すっと通るかだけご確認をまずいただけたらと思います。

すみません、打ち合わせのときに、私気づいたらよかったんですけど、例えば、二つ目の四角のところ、小学校期の時期のところ、多分、文として、「大切です」にしたほうがいいのかと、それで、次の三つ目と四つ目の四角が、今まで形態の表現、丁寧な言い方だったのが、ここは「目標にする」になっているので、これ、「ことを目標にします」か「が目標になります」か、ですかね。あたりに、両方変更させたほうがいいのかというふうに思いますが。

#### ○委員

二つ目の四角の「こどもの時期」と書いてあるのは、小学校までの時期なのか、下まで含むのか、それがちょっと曖昧かなと。それはどちらの。全てを含むという。

#### ○議長

そうですね。特に、小学校期の大体低学年ぐらいまでみたいな、小学校期全般なんですけど、小学校中学校、そうですね。何となく。

#### ○委員

確認したほうがいいのかと。

#### ○議長

そうですね。四角を。

○委員

そうしたら、小中学生の時期としておいたほうがわかりやすいのと違うのかな。

○議長

それか、もう一つ、ここの四角はとって、最初のリード文みたいな形にするか、もう、小学校、中学校、高校ときているから、幼児期ももちろん入るんですが、そういうふうにしたほうが、おっしゃるとおりですね。

○委員

その下はないの。

○議長

ですね、はい。ああそうか、それで、じゃあ、この四角をとって、あとちょっと前につなげる形で、あと、一字落として、「こども」の「こ」を変えてくらいでどうかなというふうに思います。よろしいですかね。

そうしましたら、あと、続いて私、ちょっと先ほど説明ありましたが、18ページ、学校体育の充実のところ、関係部署のほうからの指摘があったということで、部活動のほうの充実の記述が入ったのですが、ここどうでしょうか。文言も含めてなんですが、これは高砂の中学校における運動部活動指針というので、制定されているものですかね。

○委員

そうです。

○議長

ここの部分あたり、ほかの方もぜひ、指摘は、上のほうの文章には、部活動の話が出てきているのでということで、取組の方向にも入れたほうがいいのではないのかなというご指摘があったということで、事務局のほうで追加をしたというふうな経緯です。

○委員

この文言だと、これまでの取組をそのまま行いますととられてしまいそうなんですけれども、ほかのところを見ると、これまでより改善をしたりとか、新しいことをやったりという書き方をしているので、何かこう、改善していきますというニュアンスを含めたほうが、受け手が好意的に捉えることができるかなと思いましたがいかがでしょうか。

充実というプランが、充実させるために何かこういうことをこれから・・・していますという文言があればいいかなと思いました。

○議長

事務局的にはどうでしょう。多分そのあたり議論が少しありましたか。

○事務局

具体的なことはまだ、実際、どうするのかというふうなことを今後詰めていきたいなと思います。

○議長

いかがでしょうか。

○委員

このぐらいでいいと思うんですが、細かくしていくと、切りがないですし。

○議長

そうですね。

委員が言われている部分、多分この運動部活動、今現状をどんなふうに捉えるかによって、この「努めます」という中身をもう少しという部分だと思うんですが、多分、どこも実際にもそうなんですが、この運動部活動の位置づけとか実態というのは、じっくり正直いろいろ議論をしなくてはいけない部分で。

○委員

細かい部分が、たくさん出てきます。これをしっかりと部活動に取り組みます。さらに向上させますとかになったら、この人員の配置の問題とかも出てきますし、その問題が出てきたら、私が代表で出てきている範疇を超えますので、そのあたり辺挙げてしまったら、これに挙がっているのに、そうしたら、教育委員会で施設面から指導者面からどんなことをするんだということになるので。

○議長

そうですね。

○委員

あまり大きなことも。

○議長

ここについては、アクションプランの中で、恐らくどんどん少子化とか、先生の高齢化も含めて、いろんな問題も出てくる中で、ベストはないんですけど、多分ベターなやり方を模索することが、今後、必然的になると思うんで、そのあたりも含めて、この記述で、大体落ちついたというふうに、ちょっと理解いただけたらと思います。

それと、後は、私、気になったのは、37ページ、最後に図のところ、いろいろご指摘いただいていた部分で、それを少し、市民のところから、線を矢印を伸ばしたり、推進会議の位置づけとかというあたりを入れた図に改編したというふうなところですが、いかがでしょうか。

特になければ、全体通して、字句の修正等が大体主なんですが、それ以外に、ちょっと気になるなということがありましたら、最終ですので、ちょっと言っていただいて、終えたいと思いますが、どうでしょうか。

○委員

二つほどありまして、一つ目は、14ページなんですけれども、幼児期の取組ということで、文章の上から4行目、「幼児期においては、親や友だちとふれあうなかで、外遊びなどを通じて、多様な運動を経験し、楽しむことのできる機会の充実に努めます」ということで、お友だちとふれあうことだという文言があるのであれば、その裏側の13ページなんですけれども、その表を見ていただくと、「友だちづくり・仲間づくり」

というのが幼児期にかかっていないので、もう少し伸ばしてもいいのかなとか思ったりするんですけど、それはもう、どの時期に関しても、友だちづくり・仲間づくりというのが、引っかかってくるのではないかなと思うんですよ。幼児期というのは、この青少年期が6歳からとなっていますので、たとえ4歳、5歳の子どもさんでも、やはり、友だちづくり・仲間づくりというのは、すごく必要になってくるので、そうしたら、これ全部伸ばしてしまってもいいのかなと、親も多分、そういうのを目標として、いろんなところ、親子体操とか出させていると思いますので、これは伸ばしてもいいのではないかなと思いますけどどうでしょうか。

それとあともう一つよろしいでしょうか。

ライフステージごとにコラムというのがありまして、全てにコラム1から4まであるんですけども、22ページの高齢期のところだけコラムが抜けているんですね。それでちょっと、20ページのところのコラム4でメタボリックシンドロームというのが挙げられているんですけども、それであれば、高齢期であれば、ロコモティブシンドロームというのが、今ちょっと問題になっていますので、それをぜひ挙げていただいて、高齢期の運動の取組に対する啓発みたいな感じで、コラムを挙げていただけたらなと思います。その中には、筋力が衰えるサルコペニアということも挙げられると思いますので、高齢期だけコラムがないのはちょっとどうなのかなと。

○議長

そうですね。ちょっとスペース的にもあいているので、その部分是对応していただけたらと思います、事務局のほうも。

最初のご指摘ですが、これそうですね。そもそも、こんなことを言い出したらだめなんだけど、13ページのこの図自体が、あまり意味があるのかどうか、結局全部線がつながってきちゃうんですね。生きがいづくりは、それも厳密に言えば、これも幼稚園とか青少年には生きがいは、あまりそんな言い方しないほうがいいけど、と考えると、難しいところですね。

○委員

成年期や壮年期でも、マラソンとかそういうのを取り組んでやっている方にとっては、きっと生きがいになると思います。

○議長

そうですね、わかります。

○委員

そういうことからすると、競技スポーツは、幼児期には要らないのかもしれないね。ややこしい。

○議長

そうですね。

○委員

生きがいつくりは、もう10歳、青少年期の終わりぐらいになったら、これ考えてますからね。

○議長

そうですね、この図ね。確かに。何回か前に、このいわゆる割合みたいな感じで競技スポーツも、一番太くなって、それでまた細くなっていくみたいな形ができればいいななんていう話はあったんですが、ちょっとその部分については、決定的な結論を出さないでここまでできてしまい、これ自体は確かどこかにあったのを参考にそのまんまでしたね、これ。

○事務局

前は、こうなんか、山型のような。

○議長

全体が、100%のうちが何かこんなふうになっていたんですね。

○事務局

ほかはあまり変わらない。

○事務局

最初はゼロ歳とか年齢の表示が入っていたんですけど、年齢で示すことが難しいのでとったと思うんです。

○議長

そうか、ですね。

○事務局

スポーツでもゼロ歳からの何か水泳の競技みたいなのがあったりするんで、どうしようかということがありましたし、あと、先ほど問題になっていた友だちづくり・仲間づくりのところなんですけども、子どももちろん友だちは大事なんですけれども、実際、ゼロ歳から2歳くらいまでの間で、友だちと一緒に遊んでいるように見えて、個々なんです。実際、かわりを持つところを持つのは、やっぱり3歳くらいからになると思いますので、そういうところでは、もう一番初めから、友だちづくり・仲間づくりのためにスポーツをすとか、運動をすということを本人の意思ではないんですね。そこを子どもさんが思っているのは、もう少し大きくなってからで、ゼロ歳、1歳というのは、一生懸命遊んでいたり、一人遊びの時期ですので、そこは、一番前から置いてしまうのはおかしい。少し空間をあけて、もう少し伸ばすという考え方はありだと思いますが、そこはちょっとそういう考え方でちょっと後ろへ縮めたという意味があります。

○議長

そうですね。先ほど言われた。これ少し難しいところですね。何かないですかね。確かに、いろんな解釈されてしまう可能性があると思うんです。先ほど出た、例えば、競技スポーツも幼児から事実としてあるんですけど、あまりそれを推奨しているのかみた



いに思われるのもいけないし、生きがいつくりのところももう少しこっちへちょっとずつしてもいいなとか、ここの部分が、上との対応をそう見られたら、何かないですかね。

○委員

一般的な人の部分例だけ入れていったらどうなんですかね。

○委員

種目によって幼児期もありますので。

○委員

極端に言ったら、成年期のときから、もう自分は生きがいつくりなんだという人もありますしね。

○議長

そうなんです。

○委員

競技スポーツでも、年とってからでも競技スポーツをしたいんだという人もいらっしゃいますしね。

○議長

そうなんですよね。

○委員

だから、四角で同じレベルで考えてしまうということもちょっと無理があるかなというような。

○委員

あくまでもこれイメージですからね。図だからね。

○委員

あまり細かいこと言わないほうがいいですよ。

○委員

スポーツクラブ21に取り組んだとき、兵庫県が、3歳児からスポーツクラブ入れますよということのをうたい文句にしていたでしょ。それでスタートしたんです。したと思ったら、託児所がわりに使っているじゃないかといって、やられたんです。現実、託児所じゃないかと。昼まで預かってくれるところでしょうって、目的が全然違ってしまって、それも一緒に、こっちがこう思っていたって、とり方によったら全然違ってしまいますものね。

○委員

私ももうちょっとしたら、高齢期のほうへ入っていくんだけど、どうも高齢期、高齢期というと、年寄りや年寄りやというような気がしてね。前からいい表現の仕方がないかなと思って。

○委員

もうしょうがないです。

○委員

しょうがない。それもとり方だから。

○委員

避けて通られません。

○委員

熟年期ですね。

○委員

熟年期ですね。

○委員

そういうのがいいね。

○委員

そういうのがいいね。

○議長

そうですね。何かこう、いいあれがないですかね。確かに。

○委員

最初のこの図の競技スポーツ、こうなっていましたよね。

○議長

はい。

○委員

あれは何でこの横もりなんですか。競技スポーツだけ、こういう山をおかしいというのは、私。

○議長

それは、私記憶は、全部をなんか、そうですね。同じような形で。

○委員

形をそろえたほうが。

○議長

というふうにあったんですかね。申し訳ないですけど、私もそこの議論、どうやったかなと思って。ね。一番最初のころですよ、これ。

○委員

ゼロ歳からだんだん成年のところで増えて。

○委員

それはもう言葉でこう・・・しようと思ったら。

○委員

一番最初の資料ですけど。これだったらゼロ歳児入っているし。高齢者のところも入っているし。こういう。

それを考えると、友だちづくりや生きがいづくりというところもスタートがどこに起

点を置くかですけど、少しすうっと斜めに太くしていく、そういうことも考えられるのかな。イメージ的にはね。

○議長

はいはい、わかります。

○委員

一番上に、ライフステージに応じたスポーツ活動の推進のイメージになってますから、これでいいといえどもうこれでいいかなと思ったりね。

○事務局

競技スポーツと友だちづくり・仲間づくりというのは、合わすというのはどうなんですかね。だから、意識がないときから競技スポーツでもないでしょうし、あまり競技スポーツがこの全年齢を占めるなら、このコラム1のスキヤモンの発育発達曲線と整合性がないのではないかな。

(以下、ホワイトボードに図を描いて表示)

○議長

一緒にするって。どうだろう。一方では。

○事務局

長さは別として、健康のところはもうここからで多分いいと思うんですね。友だちのところは6歳ぐらいからになっているんでちょっとおかしいのではないかな、もう少し小さいうちからということで、少し伸ばす、生きがいつくりは、この65歳ぐらいからになっているからおかしいということであれば、もう少し伸ばして、20歳代よりももう少し前に伸ばしてあげる。競技スポーツは、もし、今言ったようなことを重ね、同じくらいのところにして、ここはなくす。この長さをどの辺にするかというのは、非常に難しいんですが、皆さんの意見をまとめると、こんな感じですかね。

○委員

イメージなので、多分、はっきり線引かなくてもいいので、例えば、点線にしてしまおうとか。

○委員

グラデーションで。

○委員

そうです。それが一番ですね。

○委員

三角でいくんだったら、こういうふうにしてもいいのと違うの。

○委員

そういうことですか。

○事務局

こんな感じにしたら。

○委員

下からこう上がっていく。

○事務局

下か。こういう感じになって。

○委員

そうそうそう。グラデーションがいいかもしれないね。

○委員

それでだんだん濃くして行って。

○委員

そうですね、そのほうが。

○委員

ほかこの年齢もとってしまうとか、別にイメージだけなので。年齢の説明も随時するので。最初からゼロはとりましたけど。

○委員

年齢もとってしまうのがいいかもわからないね。60歳になっていても、自分は壮年だと思っていたらいいしね。

○委員

そのとおりです。

○事務局

こんな感じ。この辺からぐうっと。

○議長

多分、競技のほうもそういう意味では友だちのところと一緒ぐらいのスタートでいいんじゃないですかね、多分、もし、グラデーションにしていくにしても。どんなに早くても、それぐらいで。そうですね。あまり要らないね。

○委員

それを基準に考えてしまうものね。

○委員

それだったら安心して、年とれます。

○委員

でも、イメージですからね。

○委員

イメージだから。

○議長

順番はどうなっているのかな。ユニバーサル、競技。

○事務局

こんなものでしょうか。

○委員

こんなのでいいのと違うの。

ユニバーサルもゼロ歳からできないしね。

○事務局

斜めに。

○委員

ユニバーサルも斜めにしていたらいいのと違うの。

○議長

そうですね。それぐらいで。じゃあ、大体のところというか、大体のイメージで、そこまでの厳密性ではないんですが、少しそのあたり、つくるときにグラデーション等も含めて、ちょっと考えるということできたいと思います。

そのほかいかがでしょうか。

○委員

15ページですけど、ちょっと違和感があったんですけどね。上からの子どもの時期は必要ですということで、それで、小学生になって大切と出てくるんですが、可能な時期ですとか、目標ですとかある中で、子どもの時期の最後のほうに、このプログラムに当たるのがコーディネーション運動になりますとあって、説明書きみたいなのがきているんですけども、これも前のページで説明しているの。

○議長

本当ですね。

○委員

遊びの要素も含んだコーディネーション運動が必要というのであるのか、プログラムが必要で、この説明の2行みたいになっているのは要らないのじゃないかなと。入れるのだったら、この説明書きのほうだけ、米印のほう。

○議長

そうですね。

○委員

全体の流れから。

○議長

確かに、左のページにありますものね。特に。

○委員

この部分だけ説明しているみたいな感じで。

○議長

じゃあこの2行、もうとってもいいかなという感じですね。はい、そうしましょうか。確かに。

○委員

とるか、プログラムをコーディネーション運動に置きかえるかですね。

○議長

そうですね。あと、委員さん、どうですか。

○委員

前のほうなんですけど、3ページ、3段目の「今後は」からの後ろに「中高年期からの運動・スポーツ習慣を形成することで」とありますけれども、後ろに成年期とか壮年期という言葉がよく出てきてますので、中高年期よりも成年期・壮年期からに置きかえたほうがいいのではないのでしょうか。

それともう一つなんですけども、そのすぐ後に、「このような状況だからこそ」という言葉がありますね。これ、その次の(2)の真ん中辺にも「このような状況だからこそ」とあって、次の(3)の中にも、「このような状況だからこそ」が出てくるんです。この言葉が悪いという意味ではないんですけれども、三つ続けて出てくるので、少し変えたほうがいいのではという印象が。とっていい言葉があまり思いついてないんですが、「この状況を鑑みて」とか、「地域社会との再生という認知からも」とか、こういうのに少し変えてみてはいかがでしょうか。

○議長

ごもっともです。確かにそうですね。ありがとうございます。

では、先ほどの中高年期というのを8ページ等でも成年期・壮年期とありますので、成年期・壮年期に訂正して、ちょっと「このような状況だからこそ」のところのところを、少し文言を若干修正して、ちょっと一任いただけたらと思います、ここは。ありがとうございます。

そのほかよろしいでしょうか。

○委員

二つあって、一つはすごいちっちゃいことなんですけど、コラム1のスキヤモンの発育発達曲線という文字がほかのコラムのタイトルに比べて、結構ここだけ大きくて強調されているので、合わせてはいかがでしょうか。

もう一つは、ウォーキングの写真が二つあって、20ページと32ページ、32ページのほうは、名所旧跡をめぐるウォーキングと書いてあるんですけど、こちらのウォーキングは、ただのウォーキングで、行事の写真かと思うので、多分、ただ歩いているところを撮ったわけではないと思いますから、何か明確な市の行事であれば、それを説明してもいいかなと思います。

○委員

これは、スポーツクラブ21のウォーキングと違うかな。

○議長

そのあたりは事務局のほうは、いけそうですか。まあ確かに、今回、かなり具体的に固有名詞的な表現を大体この場でというのがわかるようにしていただいているから、今

のご指摘があったと思いますが、個人が個別に集まってやっているものだったら、それはそれでもいいし、また何か名称をつけるなり、あるいは、何かの行事なのかスポーツクラブ等なのか、その辺、何かネーミングをつけて。

○事務局

健康づくりのために行うジョギングと、すなわち、どっちかというところ、文化と一緒にコラボするようなウォーキングが32ページのほう。

○議長

そうですね、はいはい。

○委員

20ページは日常的なウォーキングですよ。

○議長

そうですね。これ、恐らく。そんな感じの形で。

○委員

すみません、一ついいですか。17ページのコラム3のバーンアウトなんですけれども、ほかのコラムに比べて、最後も、「多い」でいきなり終わっていて、ちょっとほかのコラムより、丁寧さが欠けるといえるか、やはり、だから気をつけてますとか、何かこういうことに注意が必要ですか、もう少し最後を加えたらいかがでしょうか。

○議長

そうですね。ごもっともですね。その前後と見たら、体言どめで、ことで終わっているし。多いですね。そうですね。ここ追加をしておきましょう。

20ページのほうは、例えばですからね、日常的風景としてのウォーキングとかいうあたりにでも、何かこう入れてとけば、そういうふうなものがどんどん習慣化されたらというふうな意図も含めて、あたりでどうかなと思いますね。

そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

○委員

コラムの文章の書きぶりで合わすんだしたら、15ページのスキヤモンのところの最初の書き出しは、段落がおかしいですかね。

○議長

そうですね。はい。

○委員

20ページのウォーキングの二つ目なんですけど、上で「親子でできる運動の推進」となっていて、私もこの間、10月に親子まち歩きに出たんです。だから、そういうところを、市が主催の親子まち歩きとか、挙げたら。そういうのを、ウォーキングの下にでも入れておいたら。その市の主催の行事でね。

○議長

ただここ多分、どちらかといえば、この健康づくりのための運動の成年期・壮年期の

イメージの写真が欲しいんだろうと、今、委員が言われたところだったら。

○委員

20ページの上に「親子でできる運動の推進」となっているから、言ったのですがけどね。

○議長

わかります。

○委員

それはまた、時期、違うんですか。

○議長

再掲なので、いわゆる子どもの時期の幼児期のところに、今それ例えばあるのだったら、スムーズなんですけど、ここちょうど①のほうの多分意図で写真をつけてくれたんだろうと思うんです。

○委員

①のウォーキングですか。そこでできるあれかなと。

○議長

その観点からすると、ちょっとあれかなと思うので。

○事務局

まち歩きの方は、どっちかというところ、32ページのほうの写真のほうに近いですね。

○議長

地域づくりみたいな。名所旧跡、ここの分ですね。

○委員

委員が親子でと言っているのは、15ページの親子体操というふうなことで。

○議長

そうですね。

だから、その辺もう②の意図で入れるのだったらそうしたらいいし、①の意図だったら、もうちょっとぱっとするようなのが欲しいなというご指摘だと思います。

○委員

15ページの親子体操のこの写真が何か取ってつけた感じが。それだったら、14ページの②がありますよね、親子でできる、その③の下に入りそうな気がするんですけど。親子体操の写真が。

○議長

わかります。

○委員

そっちのほう matches そうな。

○議長

多分、そのとおりですね。ちょっとここはレイアウトの部分を考えていただいて、そ



のとおりだと思います。コラムの下にちょっと何かおまけでついたみたいに見えるということだと思いますので、ありがとうございます。

○委員

写真こっちに移行させたらいいね。

○委員

14ページの②と③の間に入れるとかね。

○議長

そうですね。

○委員

これはもう、端っこに文章寄せて、こちら辺に入れてもいいなみたいな。

○議長

そうですね。

そのほかいかがでしょうか。

○委員

細かいところなんですけど、24ページの②と③で1行あいているのとあいてないのがあるんですけど、片仮名のア、そのところ詰めてあいてないので。

○議長

③とその下のアの間ね。

そうですね。

○委員

一つ、30ページで情報発信という報告があるんですけども、この段階で何かスポーツに関する市の情報はここにありますというホームページアドレスを載せておくというのはできないことですかね。この計画では、そういうのは別に載せるものではないんですかね。

○議長

それは特に。

○委員

あれば、もうこれを見た人が、ここへいけば情報とれるんだなとわかるかなと思ったんですけど、それは別にここでやるべきことではないのでしょうか。

○議長

ここ、そうですね。一つ、この施設予約システムの部分になるんだと思うんですけどね。例えば、WEB上だったら。あとは、情報自体を今後どうしていくか、いろんな一元化をしたり、あるいは連携したりするのとかというところは、多分、具体のところを検討しないとイケないので、もし入れるとすれば、施設予約システムとかというところにあるのは全然問題ないと思います。そこは、ちょっと検討させてください。

それでは、このあたりでいいですか。熱心にご指摘をいただいてありがとうございます。

す。もう一回、最後提出するときには、全部見ていきたいと思います。よろしいでしょうか。

それでは、続きまして、二つ目のほうにいきたいと思います。前回、初めて出てきましたアクションプランのことですが、そちらについて、事務局のほうから説明をお願いします。

#### ○事務局

それでは、資料2、平成27年度高砂市スポーツ推進計画実施計画（アクションプラン）のほうをお願いします。

平成27年度のアクションプラン（案）について、説明させていただいております。

これにつきましては、前回、市で調査した各課のスポーツ・運動の状況をお示しいたしましたが、それをもとに平成27年度の取組を表形式であらわしたものでございます。

前回の会議で、このままでは内容が不十分であるとのことご意見をいただいておりますが、今後の事項について、まだ協議が整っていないため、平成27年度につきましては、この形にさせていただき、上期5年分（平成27年度から平成31年度まで）のアクションプランを各団体や関係課と協議して、よりよいアクションプランを策定したいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

スポーツ推進計画の中で、取組の方向について、ある程度詳しく記載してあるので、今後5年分のアクションプランでは、その取組について、さらに詳しく定めることとし、表にあるスポーツ推進計画の施策体系ごとの概要・目標について、今後の実施計画として、何をどのような方法でどうしていくのかを、今後各団体及び各関係課と協議して定めていこうと考えております。

今、記載している記述は、決定事項ではなく、記載例ですので、今後各団体の皆様にもご協力お願いいたしたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

平成27年度10月ごろまでに、1年後ぐらいになりますが、上期、平成27年度から平成31年度までのアクションプランとして定めたいと考えております。

また、アクションプランの進捗につきましては、各年度ごとに、1年ごとに進捗状況を評価して、ご報告させていただきます。

以上で、簡単でございますが、説明を終わります。

#### ○議長

単純に申しますと、事務局とも相談をしたのですが、この時点からこの会議で具体的な部分を5年に向けて、先ほどの推進計画というのは大ざっぱなところなんですけど、具体の事業名ではなくて、その方向を具体化していく記述をするためには、やっぱり関係の部署との調整が必要で、これ一つ書いてしまうと、言えばそれにかなり、当然ですけど縛りが出てまいります。その部分が不十分であることは否めませんので、この中に体育協会の代表の方もいらっしゃいますし、当然、学校関係もそうですし、スポーツクラブ21等も含めて、この計画を周知する中で、具体は、今までやってきたのはこういう

ふうなものだけど、これをどういうふうな形で進めていくかと、あるいはリニューアルするかというあたり、あるいは新規でこんなものやっていったらどうかなというのを先ほど事務局からありましたが、来年の少なくとも予算要求のころまでに継続審議をしていきたいというふうな趣旨です。とりあえず、平成27年度については、資料2にありますように、もうこれは今までやっている部分を取りあえず挙げて、これなんかもベースにしながら5年分のところをもう少し見通し持って、別途作成するというふうな形で、今原案が出たというふうにご理解いただけたらと思いますが。

これについては、正直自治体でもいろいろありまして、推進計画であまり書かないで、この推進計画の記述みたいなものがアクションプランに出ているところもあるんです。あるいは、もっと細かいところは、推進計画を立てて1年後から具体のものをつくるというふうなところもあったり、もう本当にさまざま、高砂市としてそのような判断をされたというふうなことは、別に間違っていないと思うので、まずは、この推進計画というふうな方向性を共有して周知する中で、引き続き議論を進めていけばいいかなと、あと関係の調整です。ここにあるような形の部分をどう具体化していくのかは、この委員会とかこの部局だけではちょっとできないので、そのあたり、引き続き協力もお願いすることも含めて、ご理解いただけたらと思うんですが、どのような形でもいいので、ちょっとご意見等をいただけたらと思うんですが、どうでしょうか。

○委員

ピント外れになるかもわからないんだけど、そういう方向でいいのと違いますか。それで、これから、組織づくりして、これを推進計画をもとにして、アクションプランを具体化していくということで、芯が一つできているんだからいいのと違うかと私は感じます。

○議長

かなり、実施主体のところまで踏み込んで、相当一覧になっているので、現状はよくわかる部分なんです。今後どうするかというのは、また考えていかなければならないところだと思います、私も。

○委員

同じ項目、例えば親子でできる運動推進は、幼児期にもほかのところにもあるのを、全て再掲という形で記載し直しているのですけれども、それはあえてこういう形にされたんでしょうか。

○事務局

今、この資料につきましては、全て同じものを記載する形で出ております。

○委員

特に、確認ではないんですけども、実施主体というところで、1ページを見ていただいたら、保育園、幼稚園が入っていますね。特に、保育園、幼稚園をここに出してきているのは、何か意図があるのかなと。そこを見てみると、大体、市は課というところ

が主体なので、どうなのかなとちょっと思いました。

○議長

これは、多分、実施主体というのも具体的に部局を書くとしたら、保育園も学校教育課になる。保育園は何課ですか。

○委員

保育園は二つあります。

○議長

そのあたりで、もう私も吸収していいのではないのかなとは思いますが、具体的な部分の内容というのが、多分事業自体が全部くくってやっていてもいいのかなとは、管轄するところがどこなのかという問題に、そこの主導で各小学校も各保育園も行くので、確におっしゃるとおりです。

幼稚園と保育園だけがちょっとそうですね。あとはみんなそれぞれですね。ちょっとそこはどうですか。

○事務局

学校教育課と子育て支援室です。

○議長

わかりました。じゃあ、保育園、幼稚園の記述のところは、学校教育課と子育て支援室ということで、訂正をしていきたいと思えます。

ひとり言と思って聞いていただけたらと思うんですが、こうやってみると、私がびっくりしたのは、結構事務局がすさまじい所掌をして、これがもう少しこの実施主体というところが、（スポーツクラブ21）とか（スポーツ推進委員会）と書いているんですが、それがもう少し自立できるような組織になると、一番いいことではないかなとは思えます。当然行政がやらなければならないことはあるんですが、その地域の団体とか、住民の団体がかなり前面に出てくるような実施主体になっていくといいかなと、現状は多分、やっぱりこれだけのところを当然把握しているのはわかるんですけどね。そのあたりも、今後、すごい重要になってくるのかなと思えます。

○委員

新規という項目が、体力測定のところだけなので、省いてしまってもいいのかなと思うんですけども。

○議長

新規という2箇所ですね。

○委員

5ページの初めの表のところ。体力測定の実施というところが。

○議長

ありますね。その表記の仕方としてということですか。

○委員

なくてもいいのかなというのと、それで、記載する必要があるということであれば。

○議長

そうですね。表の中に入れて、後ろに新規と書いておくだけでいいかなとは思いますがね。

これは例えばですけど、事務局が主体なんですけど、ほかだったら、スポーツ推進委員会とかあるじゃないですか、これは、どんな括弧づけはないんですか。

○事務局

実は、ことし、平成26年度に市役所職員、財団スポーツ教室参加者をお願いして体力測定をやりまして、大きくやったわけではないんですけども、事務局内で計測したというところで終わったんですけども、もし、来年度から可能であるならば、スポーツ推進委員の力をお借りしましてできたらなと思っております。

○議長

そういう意味で、まだ調整ができてないから、ちょっとあれなんです。わかりました。

ちょっと新規というのはとりましょう。中にうまく入れる形で。

そのほかどうでしょうか。ざっと見ていただいて。

それでは、一応、この平成27年度のことについては、これで大体、若干の修正を一任いただきたいと思います。先ほど、事務局からありましたが、中身も含めて、来年度に継続を審議していきたいというふうに考えていますので、またよろしく願います。

それでは、続きまして、4のその他のほうに行きたいと思います。

スポーツ推進会議設置要綱についてということで、事務局のほうから説明をお願いします。

○事務局

資料3をお願いいたします。

皆様からのご議論をいただき、高砂スポーツ推進計画を策定できましたが、策定後、この計画の進捗状況の管理などを行うため、平成27年4月にスポーツ推進会議を設置しまして、ご意見をいただきたいと思いますと考えております。

その設置要綱をお示しさせていただきます。内容について、ご説明いたします。

下線の部分の現在の高砂市スポーツ推進計画検討会議設置要綱と違う文言の箇所です。まず会議の名称をスポーツ推進会議といたします。所掌事務は、高砂市スポーツ推進計画に関する事、その他スポーツの推進に関する事でございます。

第5条で、任期を2年としています。

報償の額については、学識経験者、又は会議体の長については、1回当たり9,000円とし、学識経験者以外は、1回当たり5,000円です。ただし、構成員が行政職員である場合は、当該構成員が学識経験者として選任されない限り、報償は支払わない

こととしております。

この金額につきましては、平成26年度より市の基準が全庁的にこの第6条のように決定されたことに伴うものでございますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

この要綱は、平成27年4月1日から施行するものでございます。

要綱の説明は以上でございますが、資料4をお願いいたします。

スポーツ推進計画会議の構成員（案）でございます。できましたら、スポーツ推進計画を熟知している現在のこの検討会議の委員の皆様方に、今後も引き続き新たに設置するスポーツ推進会議委員をお願いしたいと考えております。お手元には、依頼文を参考に配付させていただいております。

委嘱につきましては、団体から推進をいただいた方へは、団体の長への再度推薦の依頼をいたします。公募の委員につきましては、再度承諾書をお渡しさせていただきます。

正式文書につきましては、この会議終了後お渡しさせていただきます。

会議は、年1回を予定しておりますが、先ほども説明しました上期5年分のアクションプランについて、メール等や他の会議のときなど様々な方法で、やりとりをし、ご意見をいただければと思っております。どうぞよろしくをお願いいたします。

説明は以上です。

#### ○議長

審議ではないんですが、ご質問等ありましたらお願いしたいと思っておりますが、今の説明ですね。

よろしいでしょうか。また、引き続き、ぜひともお願いしたいなと思っております。私もよく経験するんですが、この計画を一生懸命考えた人が、次、またゼロになっちゃうと、いろんな団体の諸事情があらうかと思うんですが、またゼロからの議論で、何でこんな文言が入っているんだというような蒸し返しみたいなところが出てきます。必ず。もし、チェンジされる場合は、そのあたりも何とかうまく引き継いでいただける方がありがたいなと、基本的には私からもお願いしたいんですが、ぜひとも継続でお願いしたいなというふうに思います。何とぞよろしくをお願いいたします。

そうしましたら、今日の予定の部分の議事は全て終了です。事務局のほうにまた進行のほう返しますので、お願いいたします。

#### ○事務局

どうもありがとうございました。今日で、推進計画のほうの策定は以上になります。

それでは、最後に閉会にあたりまして、高砂市長のほうから一言ご挨拶いただきます。

#### ○市長

(あいさつ)

#### ○事務局

ありがとうございました。

それでは、本日の第8回高砂市スポーツ推進計画検討会議を終了させていただきます。  
本日はどうもありがとうございました。

(午後 8時30分 閉会)